

第4回港南区協働による地域づくり推進協議会 開催概要

- [日 時] 平成 27 年 12 月 10 日 (木) 12 時から 14 時まで
- [場 所] 港南区役所 3 階 2 号会議室
- [出席者] 藤田会長、長副会長、五十嵐副会長、福山委員、高柳委員、小林委員、二河委員、山崎委員、小玉委員、守分委員、齊藤委員 (欠席:大友委員)
- [議 事] ・各団体の情報共有と連携について
・平成 28 年度の取組の方向性について

港南区連合町内会長連絡協議会 (藤田会長: 芹が谷)

● 区連会での意見交換会 (12/22 開催)

12/22 に「地域における防災・減災に向けた取組について」各地区連合町内会長と意見交換を行う。地域の皆さんが自分事として捉えやすい防災・減災を地域でどう進めていくか、各連合の考え方や取組などについて話し合いたい。



● 第3期地域福祉保健計画地区別計画の推進

現在各地区で話し合いながら策定が進められている第3期地域福祉保健計画地区別計画については、実施にあたっては地域での話し合いの場を持ちながら、地域の皆さんと一緒に進めていきたい。

港南区社会福祉協議会 (長副会長: 日野)

● 支えあいマップづくりの推進

「支えあいマップ」の範囲が概ね 50 世帯となっているのは、いざという時の支え手を確保することに注目した最小単位である。この支えあいマップ作りを民生委員等と連携しながら進めていきたい。



● 障害者後見的支援制度との連携及びサポート

「障害者後見的支援制度」が来年、港南区でも始まる。これは、成年後見人とは異なりお金の管理などは行わないが、障害者の方が利用可能なサービスの紹介や地域とのつなぎ役を担う制度である。

● 港南区フードドライブ (家庭の余剰食品を困窮者につなぐしくみ) 実施報告

区社協事務所近隣の連合町内会のみへの呼びかけであったが、9 月の 1 か月間で 466 点もの品が寄せられ、さっそく、諸事情で食に窮している方々にお渡しできた。ご協力に感謝。

● 移動情報センターについて

移動に困難を抱える障害者等からの相談に応じて、各サービス事業者等の情報提供や紹介を行う移動情報センターが来年度以降港南区でも始まるので、今後の動向を注視していただきたい。

● 市社会福祉大会の記念講演報告 (講師: 東京大学社会科学研究所教授 玄田有史 氏)

『これからの地域づくりに必要なことは、新しい考えも受け入れられるような緩やかなつながりの中で、各人ができることを生かして支えあうこと、その連携を広げていくことだろう。』

港南区シルバークラブ連合会 (小玉委員: 野庭団地)

● シルバークラブの現状について

シルバークラブの会員数の減少と高齢化は、港南区だけではなく横浜市全体の課題となっている。特に、シルバークラブの役員の継続性や担い手不足といった問題は自治会町内会同様大きな課題であるので、皆さんと話し合いながら一緒に考えていきたい。



港南区民生委員児童委員協議会（五十嵐副会長：日野第一）

● 仙台市若林区への訪問研修報告

現地の民生委員・児童委員との意見交換では、震災で崩れた地域コミュニティの再構築の難しさや被災者間で広がる格差などの問題について改めて考えさせられた。

また、震災時には中高生が自ら率先して手助けをしたという話がとても印象に残った。日頃から地域の防災において、中高生等をいかに巻き込むかといったことを考えていかなければならない。

● 平成 28 年の民生委員児童委員一斉改選について

平成 28 年は民生委員児童委員の一斉改選が行われる。任期の 3 年続けることでやっとひとり暮らし高齢者等地域の方と顔の見える関係ができるので、ぜひ皆さんには続けて欲しいと思う。民生委員児童委員が問題を一人で抱え込まないように地域で協力していただきたい。また、欠員が出ないようにぜひ推薦していただきたい。



港南区地区社会福祉協議会分科会（福山委員：日下）

● 協働推進協議会で得た情報の活用

この協議会を通じて各団体とのつながりができ、今年度の連合防災訓練で、ヘルスメイト作成のローリングストック（備蓄食品の活用法）レシピを配布できた。

今後も、協議会で得た情報を地元や地区社協分科会などでも共有し活用していきたい。

● 住民支えあいマップづくり

マップ作りについては、各地域のひとり暮らし高齢者の実態を把握している民生委員を中心に、自治会町内会などさまざまな方に参加していただき進めていきたい。

● 住民参加型団体との連携

高齢者が増加していく中で、地域での支えあいは非常に重要となってくる。ただ、介護のことなど専門的な部分で一般住民には対応し切れないところもあるので、地区社協としても交流会などで住民参加型団体とのつながりを持ち、少しずつ情報を共有し合いながら、高齢者のために何ができるか一緒に考えていきたい。



港南区スポーツ推進委員連絡協議会（小林委員：野庭団地）

● ラジオ体操の普及推進について

シルバークラブのスポーツ大会やペタンク大会にラジオ体操指導と呼ばれるようになり、スポーツ推進委員の活動の幅が広がっている。今後は、ラジオ体操の指導だけではなく、地域に普及させていくためにも各委員の資格取得を促していきたい。

● こうなんファジーバレーボール大会開催報告

10/25 の今大会には全部で約 400 人弱の方が参加し、大成功に終わった。今回もプロのバレーボール選手に参加頂き、とても盛り上がった。どのイベントにも共通することだが、小中学生の参加を促すことでその保護者も来場し、非常に和やかな雰囲気で行うことができるので、今後も多世代が参加できるようにしていきたい。

● グラウンドゴルフ大会の実施に向けて

子どもから高齢者まで参加できるイベントの実現に向けて、10/15 のスポーツ推進委員全体研修の中で各地域から数名参加してもらい、実際にグラウンドゴルフを行う予定だったが、雨で中止となってしまった。今後も大会の実施に向けて検討していきたい。



港南区保健活動推進委員会（高柳委員：日野第一）

● 健康づくり月間における取組の報告

10/18 にひまわり健康フェアを区役所 4 階で実施した。来場者の健康チェックなど、さまざまな団体と協力しながら行った。予想以上に来場者が多く、皆さんの健康意識の高さを実感した。

また、11/29 に行われた港南ふれあいウォーキングでは、保健活動推進員も実際に一般の方と交流しながらコースを歩いた。このようなイベントの中で皆さんが関わり合うことでつながりが生まれるので、健康づくりの一環としてこれからもイベントを企画していきたい。



● よこはまウォーキングポイント、特定健診の普及啓発

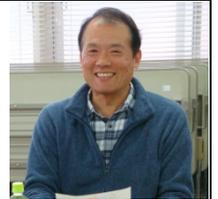
ウォーキングポイントについては、区内の多くの方に参加していただいているが、もっとウォーキングを楽しんで頂くために参加者を増やしていきたい。ぜひ各団体の皆さんにも協力していただきたい。

また、特定健診についても港南区の受診率は横浜市平均よりも高いが、まだまだ低水準なので今後も地道にPRしていきたい。

港南区青少年指導員協議会（二河委員：日野）

● 「青指通信」と「青指だより」の紹介

青指通信は各部会や他区の活動を共有することを目的に青少年指導員向けに作成している。来年3月が改選時期です。広く青指の活動を知ってもらうために各町内会ごとに「青指だより」も発行されますので上手く活用していただきたい。



● 青少年指導員の各活動について

今期始めたスクールミーティングについては、今月の港南中をもって全地区で実施となる見込みです。毎回多くの中学生の本音を引き出せているようです。

11/21 に行ったこどもフォーラムについては大変好評だったが、一方で様々な要望を受けている。今後もしょこずつ改善していけるよう青指だけではなく、学校や子どもなど関わってきた人たちと協力してより良いものにしていきたい。

また、3/13 に「港南ひまわりウォーク」を開催する予定。このウォーキングは小中学生とその家族や友人とのふれあいを大事にしています。ぜひとも、多くの方に参加して欲しい。

港南区食生活等改善推進委員会（ヘルスマイト）（守分委員：永野）

● 災害時の食について

先ほど福山委員からもご紹介があった、缶詰や乾物といった普段から家庭にある備蓄品の活用レシピ（ローリングストックレシピ）を発行し、多くの方から好評をいただいている。このリーフレットの目的の一つが高齢者の食でもあり、「ひとり暮らし高齢者の食」の啓発についてもリーフレットのバージョンアップをしながら取り組みたい。

区における高齢者の状況を踏まえた上での「健康づくり」に、皆さんと話し合いながら進めていきたい。



● 港南ふれあいウォーキング開催報告（合同ウォーキング実行委員会）

皆さんのご協力もあり、無事に終えることができた。お礼を申し上げたい。当日は404名もの方が参加し、90名の従事者の方が協力してくれた。アンケートでは約9割の方が満足、95%の方が「また参加したい」と回答してくれた。このアンケートで出た意見や要望を踏まえ、来年度どう進めていくか実行委員会で話し合っていきたい。

港南区消費生活推進員の会（山崎委員：ひぎり）

● 3/4 実施の街頭キャンペーンについて

今年度も新都市プラザ（横浜そごう地下2階正面入口前広場）にて街頭キャンペーンを行う。飲料水や果物の糖度測定の体験ができたり、浄水器の商品テストの結果報告などさまざまな内容となっている。また、悪質商法の追放啓発を通行者に呼びかける予定。



港南区役所（齊藤委員：港南区長）

● 各団体と協力した防災や健康づくりのPRについて

各団体の顔のつながりがこの協議会でも進んできたと思う。

防災や健康づくりなど、皆さんが自分事として捉えて少しでも行動に移せるように、区役所だけではなく各団体の皆さんと協力しながら楽しくPRしていきたい。



◆平成28年度の取組の方向性について 藤田会長

3月12日（土）開催の「元気な地域づくりフォーラム」にて、地域のつながりを強めるための来年度の取組の方向性を共有するので、各団体で来年度の方向性について話し合っただき、次回の協議会で皆さんと話し合いたい。

◆次回の予定について

次回は2月4日（木）12時（区地域福祉保健計画推進協議会終了後）からの開催を予定。